

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
稲畑廣太郎	蟻の道とははみ出さず追ひ越さず	伊賀市	松村 咲子
稲畑廣太郎	一日の白咲ききつて夏椿	伊賀市	稲垣 碧星
稲畑廣太郎	今の世を語り辛口なる冷酒	伊賀市	永井 二紗子
稲畑廣太郎	炎帝に抗ひ影を奪はるる	伊賀市	前出 公子
稲畑廣太郎	炎天や寡黙貫く活火山	新潟市	佐野 和太留
稲畑廣太郎	人の世につかれて猫と端居かな	厚木市	北村 純一
稲畑廣太郎	噴水のとっぺん乱すビルの風	世田谷区	後藤 周平
稲畑廣太郎	炎帝や人の気配の消えし街	高崎市	茂木 操
稲畑廣太郎	風鈴の音を残して宵の風	名張市	芦田 覚
稲畑廣太郎	ゆるやかに風を鎮めて風の盆	小牧市	鈴木 年春
稲畑廣太郎	山の音沈めて滝の音落つる	岡山市	名木田 純子
稲畑廣太郎	晴れ来たる地球持ち上げ梅雨茸	岡山市	伴 明子
稲畑廣太郎	風鈴の告白風の聞いてをり	周南市	吉浦 宗華
稲畑廣太郎	幾筋の風の明るさ今年竹	神戸市	足立 朱麻
稲畑廣太郎	風鈴の音に導かれ神の庭	泉大津市	多田羅 紀子
稲畑廣太郎	春の空富士の農鳥仰ぎをり	伊賀市	山中 清茂
稲畑廣太郎	団扇の手止まる下五の整うて	富田林市	奥野 とほる
稲畑廣太郎	文月や翁書を編み詩を詠む	柏原市	立入 宮子
稲畑廣太郎	風に乗り近江富士斬るヨットの帆	茨木市	田邊 育子
稲畑廣太郎	山の温泉へ闇を運んで来し河鹿	伊賀市	西澤 与志子
井上弘美	百燈の流るままに施餓鬼舟	江戸川区	坂本 昭子

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
井上弘美	月暈を浅むらさきに魂送	杉並区	田中 佳子
井上弘美	足のみの鬼を祀りて紫陽花寺	名張市	森岡 秀美
井上弘美	秋思とは一人あけぼの杉の道	世田谷区	野上 卓
井上弘美	欠航のフライトボード星流る	京田辺市	加藤 草児
井上弘美	灯明の手風に消えず雁の頃	台東区	市川 浩実
井上弘美	水底のあまさず透けて青山河	習志野市	鈴木 禮子
井上弘美	風囀佐渡見る小さき窓ひとつ	上越市	山本 信義
井上弘美	敦盛の兜に屏風祭の灯	江東区	浦田 祐子
井上弘美	夏の果ロシア艦隊来航圖	文京区	市村 和湖
井上弘美	青葉木菟星のひとつに住みをれば	名古屋市	谷中 弘子
井上弘美	梅の実黄ばむひんやりと手足あり	神戸市	堀 瞳子
井上弘美	見えぬ荷を負ふ者たちに夏燕	中野区	中田 千恵子
井上弘美	初氷割つて目高を確かむる	青梅市	津布久 信雄
井上弘美	浮舟のまへもうしろも真菰草	川崎市	小野 美智子
井上弘美	空蟬のはなさぬ雨のひと雫	調布市	岸根 明
井上弘美	香立の窯変あをき夏座敷	名古屋市	尾崎 登代
井上弘美	大甕に藍の華立つ雁渡し	杉並区	菊地 あきこ
井上弘美	青鷺の影は流れず早瀬中	東大阪市	岡本 戎
井上弘美	ひと筋の蜘蛛の生絹に朝日光げ	伊賀市	下村 哲朗
井上康明	猟銃の遠き残響下山道	世田谷区	野上 卓
井上康明	火の色の如く柘榴の咲きにけり	土岐市	三輪 麗子

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
井上康明	嬰の目に溢れる深空終戦日	南アルプス市	中込 清香
井上康明	水打ちし社に兜拝しけり	兵庫県	坂元 初男
井上康明	オリオンのひとつは母と祈りつつ	南アルプス市	野中 弓子
井上康明	結界の草青みたり能舞台	奈良市	奥 良彦
井上康明	夏野ゆく異界のアリス追いかけて	伊賀市	福沢 義男
井上康明	ヒロシマの大地無数の蟬の穴	伊賀市	福間 薄緑
井上康明	峡の村ゆつくり秋のおりてくる	伊賀市	菊山 時子
井上康明	茗荷の子木喰仏の堂に雨	横浜市	鈴木 せつこ
井上康明	八月の一日花の夢の数	練馬区	曾根 新五郎
井上康明	ハイウェイの風にうねるや夾竹桃	甲府市	日原 慶子
井上康明	酒蔵の涼し轍の通し土間	広島市	藤谷 朱実
井上康明	天井に守宮の眠る島の昼	江南市	山口 南海子
井上康明	鉄錆の焼くる匂ひや炎天下	茅ヶ崎市	坂口 和代
井上康明	甲斐駒も北岳もなき雪催ひ	東大阪市	根来 譲二
井上康明	一茶忌や雀の遊ぶ天井絵	大府市	神谷 優
井上康明	時鳥降りしきる雨貫きて	伊賀市	小川 ひとみ
井上康明	回廊の円柱を這ふ蝸牛	ひたちなか市	加藤 政彦
小川軽舟	土曜日の雨や鹿の子を眺めをり	宇治市	鬼界 時三
小川軽舟	甌穴のひしめく河床月涼し	宝塚市	牧 美恵子
小川軽舟	写経所の四隅に大き扇風機	川崎市	小林 恭子
小川軽舟	ひとりづつ減り家遺るピラカンサ	さいたま市	西嶋 景子

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
小川 軽舟	緑蔭や絵を描く人ら向き向きに	津市	渡邊 健治
小川 軽舟	広っぱに三角野球秋あかね	熊本市	上杉 遊水
小川 軽舟	回り来し一升瓶の新走	伊勢市	久世 伸子
小川 軽舟	風花や母の記憶に父は消え	名張市	森岡 秀美
小川 軽舟	栈橋に遠き灯ゆるる葉月潮	北海道上川郡	鶴岡 正子
小川 軽舟	煮魚の匂ふバス停春の月	浦安市	松本 美智子
小川 軽舟	牧涼し牛広がりて地平まで	上尾市	小村 勝子
小川 軽舟	母衣蚊帳に透けて弟泣いてをり	南あわじ市	樫本 世貴子
小川 軽舟	揚雲雀町は夕日に溺れたる	桜井市	中 博司
小川 軽舟	熱湯の噴き出す蛇口海の家	高知市	山下 健太郎
小川 軽舟	索引を辿る指先夜の秋	横浜市	宮本 素子
小川 軽舟	啓蟄や退去前夜の白き部屋	津市	板谷 翔平
小川 軽舟	炎天のベンチに風や楠大樹	牛久市	笹野 泰弘
小川 軽舟	菩提寺へだらだら坂や蝉時雨	龍ヶ崎市	白取 せち
小川 軽舟	塗りたての横断歩道梅雨明くる	伊賀市	木根 園美
小川 軽舟	背番号3を返上卒業す	福岡市	白井 道義
小澤 實	蟻を掃く蟻の運べるものも掃く	江南市	山口 南海子
小澤 實	滔滔と隋の運河や夏燕	大田区	森川 雅美
小澤 實	千枚の田ごと田ごとの田水沸く	茅ヶ崎市	塚本 治彦
小澤 實	高虎の兜につばさ雲の峰	京都府	田端 欲句歩
小澤 實	風死して鴉が人語喋りたる	厚木市	小倉 京佳

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
小澤 實	ジョアン・ミロの自由自在や螺の道	世田谷区	野上 卓
小澤 實	若僧の剃り跡青し花八手	津市	森本 ふた子
小澤 實	遠足の手書きの地図に足す我が家	塩尻市	神戸 千寛
小澤 實	遮光器土偶祭囃子に踊り出す	宇治市	濱岡 学
小澤 實	老僧やおもむろに抜く汗手貫	東大阪市	永川 都子
小澤 實	暮れてなほ草食む牛や桜東風	埼玉県	山口 枕流
小澤 實	柝の音や社に集う村芝居	稲沢市	村手 八重子
小澤 實	大夕立赤提灯のともりけり	熊谷市	小暮 蓮生
小澤 實	初漁の目玉とび出す深海魚	神戸市	平尾 美智男
小澤 實	すいかのたねとばして遊んだ祖母の家	名張市	細谷 千波
小澤 實	底紅やおかげ参りの旧街道	伊勢市	坂本 剛子
小澤 實	寫真館はまだ其處に在り初詣	堺市	柴生 函
小澤 實	赤棟蛇ひと日交みてをりにけり	福島県	黒澤 正行
小澤 實	門涼み鳥の糞を躲す君	大津市	玄琶 小篇
小澤 實	麴は想ひ出の味妣の味	三重県	下地 ゆきよ
權未知子	極月や牛刀を研ぎ出刃を研ぎ	伊賀市	坂石 佳音
權未知子	虫送り煙の道を振り向かず	渋谷区	田中 冬生
權未知子	白息の当たらぬやうに挨拶す	須坂市	須坂 大寒
權未知子	石濡れて木濡れて薔薇の棘ひかる	渋谷区	佐藤 志祐
權未知子	流燈の一つは終に岸去らず	伊賀市	神尾 早智子
權未知子	真剣に顔を洗へる仔猫かな	桜井市	中 博司

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
權未知子	蘭鑄のひるがへるとき薔薇となる	藤沢市	矢野 みはる
權未知子	蒲公英の不時着のまま開きけり	新宿区	志磨 泉
權未知子	旅に寝て旅に目覚むる燕かな	小平市	大月 弓香
權未知子	たつぷりとひそと泰山木の花	神奈川県	前田 恵美
權未知子	さよならは言はず草矢を打ちあひし	高崎市	岩田 翔
權未知子	父方の交はり淡し葛饅頭	東久留米市	川目 紫
權未知子	釣糸のあばるる岸の寒さかな	名古屋市	岩田 半寒
權未知子	空き箱に仕舞ふ空き箱十二月	名張市	森永 侑樹
權未知子	海色に光るペディキュア夏初め	葛飾区	川角 由美子
權未知子	春闌けて閑かにこはれゆく花も	習志野市	鈴木 禮子
權未知子	地下足袋の春筍を探りあつ	尾鷲市	中森 泰次
權未知子	口中の乾きはじめる稲田かな	千葉市	島木 翠
權未知子	七夕や高速バスの着く時間	松本市	高橋 幸々
坂口 緑志	紅花をよすがに偲ぶ翁の世	伊賀市	西田 誠
坂口 緑志	鯖捌く出刃にのる血や憂国忌	常滑市	磯村 久市
坂口 緑志	山葵田の雨を厭はず雪加啼く	西尾市	齋藤 朗笛
坂口 緑志	竹屑にまみるる足袋や火縄絢ふ	名張市	谷村 賢二
坂口 緑志	嬬歌の杜玉虫のきら飛び立たせ	伊賀市	木根 節子
坂口 緑志	浅沙咲く大仏殿の池の面	伊賀市	佐々木 経子
坂口 緑志	飾り山笠玄界灘の風受けて	名張市	岡森 競一
坂口 緑志	火の揺れに川面の歪む夜振かな	名古屋市	市之瀬 肇

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
坂口 緑志	芭蕉玉解く寿貞碑へ影射して	伊賀市	永井 みよ
坂口 緑志	日傘して遠くに聞けり木遣唄	三重県	下地 ゆきよ
坂口 緑志	松の廊下跡なる木々の茂りかな	宇治市	宮谷 昌代
坂口 緑志	暮れ際の陽を使ひきり蕨摘む	札幌市	佐藤 多美子
坂口 緑志	時鳥猿蓑塚に祖師しのぶ	松阪市	鈴木 幸代
坂口 緑志	潮の香の風来る現の証拠かな	江南市	山口 南海子
坂口 緑志	黒南風や語尾の荒ぶる志摩訛	伊勢市	三ツ矢 龍美
坂口 緑志	まつすぐに活けて少女の桃の花	長久手市	加納 碩恵
坂口 緑志	明けやらで藍色灯す牽牛花	境港市	阿部 はる
坂口 緑志	他の色に染まることなき白木蓮	津市	坂中 徳子
坂口 緑志	大寒や火をふき真竹破裂せり	伊賀市	鈴木 明美
坂口 緑志	十字架の墓標に白き百合の花	品川区	蛭田 恒美
谷口智行	古池の水瘦せてをり蚊にくはれ	富士市	米中 京
谷口智行	舌先に触るる葉脈桜餅	大津市	金井 由美子
谷口智行	露の身や家系凶神に始まりし	京都市	草木 隆
谷口智行	風の手のとつと支ふる半仙戯	茅ヶ崎市	坂口 和代
谷口智行	蚊遣香焚く尼寺の厨口	江南市	柴田 蒼生子
谷口智行	獅子独活の太きの中に海女の墓	志摩市	手塚 泰子
谷口智行	母の桶母の重石や若高菜	四日市市	下川 茂喜
谷口智行	㊦の魔除け戸口に島のどか	鈴鹿市	高尾 のり子
谷口智行	条里制残る大和の稲の花	津市	服部 美佐子

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
谷口智行	和生逝きそれでも確と山桜	伊勢市	松本 愛子
谷口智行	ペチュニアの青の涼しく刃物売る	伊勢市	森下 充子
谷口智行	氷魚いま比良の夜明けを汲まれけり	伊賀市	岡島 千秋
谷口智行	年の瀬や次々かかる鹿の罨	伊賀市	宮谷 則夫
谷口智行	神輿のせ巡る軽トラ過疎の村	伊賀市	北 昇
谷口智行	戦いは嫌と云いつつ蝸牛殺す	津市	齋藤 千代子
谷口智行	小鳥来る音のかそけし遺髪塚	三重県	湊 富美子
谷口智行	麦笛や通潤橋の放水日	八代市	清水 明美
谷口智行	沢水に浸す腓や花わさび	熊本市	菅野 隆明
谷口智行	朽舟の骨格あらは熊野灼く	新宮市	下川 美紀子
西村和子	缶ビール庶民の一日つつがなく	稲沢市	宮崎 雅子
西村和子	廃窯の炎の記憶ちちろ鳴く	常滑市	細井 かね子
西村和子	四君子の屏風を配し釜始	西尾市	蓮沼 たけし
西村和子	形代に上寿の熱き息を吹く	常滑市	鈴木 黄磁
西村和子	初蟬や水音のなほ勝りたる	習志野市	中津 麻美
西村和子	清流に触れんばかりや懸り藤	豊島区	松枝 真理子
西村和子	青畳踏み素足のよみがへる	伊賀市	山下 文子
西村和子	大空にすぐにまぎるる帰燕かな	横浜市	三玉 一郎
西村和子	本堂の花頭窓より杜若	世田谷区	林 奈津子
西村和子	病棟に吾子の短冊星の竹	長野市	木原 登
西村和子	銀やんま古沼に水輪広げをり	大垣市	名和 よちゑ

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
西村和子	城山の御庭番めく夏燕	大垣市	七種 年男
西村和子	色かぞへをれば消えたり秋の虹	大阪市	立川 六珈
西村和子	共学となりし学舎燕来る	紀の川市	中島 走吟
西村和子	尼御前爪の美し箱火鉢	奈良市	池田 雪彦
西村和子	吟詠の帯は亀甲菊日和	福岡市	奥野 泰子
西村和子	水中にひかるビー玉聖五月	福岡市	安東 ヒサ子
西村和子	青葉潮鵜よりも黒き能登瓦	西尾市	齋藤 朗笛
西村和子	妻の手を放してならぬ初詣	津市	山本 清稀人
西村和子	纏はりてふつと消えけり秋の蝶	松山市	松井 洋子
長谷川 權	うなぎ焼く庇短し油照り	東近江市	小嶋 真紀
長谷川 權	初空や肩書のなき身に戻る	東久留米市	矢作 輝
長谷川 權	鎮魂の苦海の続く水俣忌	熊本市	永田 証真
長谷川 權	風花や勇退の日の君とみて	高松市	佐藤 奈都子
長谷川 權	白寿まだ通過点とや生身魂	明石市	榎野 実
長谷川 權	番犬も一家のひとり白日傘	岐阜市	芝田 太
長谷川 權	山椒魚百年生きてこんな顔	伊賀市	炊 規夫
長谷川 權	罪深き戦塵訓や沖縄忌	志摩市	松村 正之
長谷川 權	泰山木一花に仏の坐るかに	鈴鹿市	関 昭世
長谷川 權	船人海女腰にふたへの命綱	志摩市	中井 志汐
長谷川 權	雨上がりががんぼ玻璃を離れけり	札幌市	鈴木 禎子
長谷川 權	政治とは金まはすこと衣被	中央区	久塚 謙一

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
長谷川 權	手にのせてころが濡れる新豆腐	横浜市	三玉 一郎
長谷川 權	瓢箪を身に付け子らの泳ぎし日	福岡市	内田 正義
長谷川 權	牡丹焚く火の断層に眠る月	船橋市	勝木田 大聖
長谷川 權	少年の一日短し夏の川	福岡市	内田 正義
長谷川 權	どの幹も吾を待ちある帰省かな	秋田市	荻原 都美子
長谷川 權	凄まじき夢の醒むればかぶと虫	千葉市	山越 正彦
長谷川 權	われもまた我楽多のうち涼風来	横浜市	大迫 安光
長谷川 權	春の蝶かと目を見張る手話だった	熊本市	貴田 雄介
福山良子	地の温みもって野梅のふくらめり	伊賀市	谷口 恂
福山良子	歩行器の子のふくらはぎ夏盛ん	さいたま市	石川 晴
福山良子	故郷の田植終えたる泥田風	津市	井岡 智恵
福山良子	ぬぐう汗そでからつたいグラウンドへ	伊賀市	藤岡 直樹
福山良子	友来るや翼のやうな夏帽子	大府市	加藤 じゅん
福山良子	奈良墨の香る行灯夕おぼろ	伊賀市	神尾 早智子
福山良子	睡蓮や土橋を塞ぐ竹青し	伊賀市	箱林 のぶ子
福山良子	桔梗の五弁をほどき初む刹那	甲賀市	服部 登紀子
福山良子	汗垂らし敗者一礼スタンドへ	伊賀市	西出 喜子
福山良子	花南天零れ菩薩と化せし石	岡崎市	三浦 葵水
福山良子	初鰹潮滴を氏神へ	三重県	湊 富美子
福山良子	バースデー水の匂ひの六月来	伊賀市	森永 道子
福山良子	ホスピスに午前一時の冬銀河	横浜市	岡 まゆみ

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
福山良子	夏柳ゆらりと躲すどんこ舟	川口市	藤波 悦子
福山良子	夫かとも大戸に蟬の孵化したり	伊賀市	中西 澄子
福山良子	節くれの掌に凍蝶を揺り醒ます	津市	小林 古寿
福山良子	シュレッターに書類かなかな鳴きだせり	伊賀市	上田 幸子
福山良子	青葦より暮るる湖掬ひ湯葉	伊賀市	岡島 千秋
福山良子	振花やここも古琵琶湖層の底	伊賀市	永井 みよ
福山良子	畑にて料理談義やズッキーニ	伊賀市	中川 理恵子
星野 椿	み熊野の朝な夕なのほととぎす	岡崎市	柴田 敏子
星野 椿	少年のふらここ雲を蹴り上げて	伊賀市	松村 咲子
星野 椿	再建の愚陀佛庵や風薫る	伊賀市	福沢 義男
星野 椿	紫陽花やこの雨好きと誇らしげ	伊賀市	田中 とし子
星野 椿	月に逢ふ喜びは夕菅の色	伊賀市	池本 準一
星野 椿	爽涼や芭蕉の森に虚子の句碑	伊賀市	神尾 早智子
星野 椿	また一人欠けて見上ぐる盆の月	津市	前川 千可子
星野 椿	睡蓮の今日の色閉づモネの池	津市	林 里美
星野 椿	龍神の星のまほらや遠河鹿	松阪市	小川 寧子
星野 椿	天水に頼りし島の墓洗ふ	練馬区	曾根 新五郎
星野 椿	虚子の句碑建つ二尊院若楓	枚方市	春名 勲
星野 椿	浪の音湖中句碑立つ鳩の海	三木市	岡本 やすし
星野 椿	湖からの風にそよげる茅の輪かな	松江市	福頼 聡子
星野 椿	蓮の花いま開かむと水の揺れ	伊賀市	山下 文子

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
星野 椿	光陰の翁の句碑へ緑さす	伊賀市	山下 久美
星野 椿	夕焼や舟ことごとく影となる	相模原市	村田 宣政
星野 椿	お花畑アルプス越しに青き富士	四日市市	伊藤 和子
星野 椿	春光を捉へる如く網を打つ	西尾市	蓮沼 たけし
星野 椿	伊賀の里枯野は淡き利久色	河内長野市	中西 博雅
堀本裕樹	白菜を割るや炎の如く芯	横浜市	神野志 季三江
堀本裕樹	毛虫這ふ後ろの脚のぺとぺと	宇陀市	小倉 貴弘
堀本裕樹	故郷へ右も左も山若葉	和歌山市	東内 まり子
堀本裕樹	台風来コインランドリーに独りをり	神戸市	松元 一師
堀本裕樹	霜焼けの指に伝わる猫の息	貝塚市	猫田 華子
堀本裕樹	一塁を見遣る投手の目の涼し	大阪市	島田 和子
堀本裕樹	ビードロに泡一つあり夏の月	草津市	内海 阿月
堀本裕樹	蟬の穴数へてうれし童歌	京都市	西村 六香
堀本裕樹	比良昏れて湖をころがる虎落笛	京都市	林 游実子
堀本裕樹	うぶすなの名のかはりけり天の川	横浜市	森井 三喜
堀本裕樹	今死ねば泣く人のゐて夕蛩	品川区	本多 遊子
堀本裕樹	怒涛のばん馬立冬の土を蹴る	東久留米市	新濃 健
堀本裕樹	ウォータースライダー雲の峰より滑り下り	東久留米市	松本 もとじ
堀本裕樹	腑の瘍は逢ふまじなこの春風に	東大和市	板坂 壽一
堀本裕樹	ありのまま生きて百態年暮るる	愛知県	水野 圓子
堀本裕樹	寺の子の拾ひ提げゆく蛇の衣	名古屋市	光田 道子

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
堀本裕樹	月を待つ絶滅前夜だとしても	四日市市	泗水 ハオ
堀本裕樹	葱坊主角を曲がればなんでも屋	札幌市	佐藤 多美子
堀本裕樹	畦塗や泥乾きをる母の顔	大府市	平井 あや
堀本裕樹	二度揚げの香や六階を夏至夜風	西宮市	杉浦 萌芽
正木ゆう子	山の気を吸ひ上げ茸また茸	福岡市	久美 二葉
正木ゆう子	がしがしとバターのばして五月晴	名張市	森永 真里奈
正木ゆう子	錦玉羹好んだ伯母の話など	伊賀市	中出 泰衣
正木ゆう子	何もかも蘆のさやぎの向かうかな	京都市	宇野 恭子
正木ゆう子	ひまわりに囲まれてひとりじゃない	福岡市	岡本 努
正木ゆう子	ポタージュのクルトンを噛む冬はじめ	福岡市	奥野 泰子
正木ゆう子	哺乳瓶の目盛の赤し明易し	豊中市	長谷川 陶子
正木ゆう子	一頭の魅惑の白や夏の蝶	伊賀市	中島 庸子
正木ゆう子	束縛を解けばこの花合歓の花	柏市	佐藤 敏文
正木ゆう子	文机の父の灰皿夏座敷	岩倉市	山田 雅弘
正木ゆう子	ひつそりと星の夜空の月見草	弘前市	藤田 夕華
正木ゆう子	秋燕壚に入りて見る夢は	栃木市	大竹 茂
正木ゆう子	草くはへひたすら浮巢繕へる	富山市	高城 玲子
正木ゆう子	蒲団干す夢を楽しくするために	土浦市	貝塚 妙子
正木ゆう子	海に虹かけて去りゆく白雨かな	長野市	木原 登
正木ゆう子	廃村のをちこち実梅成るばかり	舞鶴市	飯田 尚子
正木ゆう子	夫洗う皿の泡飛ぶ淑気かな	秋田県	三浦 静佳

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
正木ゆう子	身一つ置きどころなき暑さかな	杉並区	早坂 洋子
正木ゆう子	入念に櫓の芽を削ぐ長柄鎌	和歌山県	今井 善衛
正木ゆう子	羅や縦に横にと風の糸	香取市	清水 和子
三村純也	匳鮎代へて再び瀬に挑む	長岡京市	藤堂 くにを
三村純也	海女さんと尊称で呼ぶ浦祭	伊勢市	松本 愛子
三村純也	いつよりか古井に金魚住み着きて	奈良市	高橋 翠
三村純也	少年に漢の匂ひ漁始	志摩市	西尾 敬一
三村純也	すぐ乾くさびしき嵩の髪洗ふ	志摩市	手塚 泰子
三村純也	槍穂高見霽かしたる花野かな	枚方市	伊勢知 正子
三村純也	島結ぶエンジェルロード春の風	神戸市	細見 俊雄
三村純也	練塀の上にこぼるる柿の花	堺市	内田 陽子
三村純也	石斛の岩山一つ驚掴み	伊万里市	萩原 豊彦
三村純也	人の住めさうな大樽寒造	宝塚市	廣田 祝世
三村純也	母の日の敬語で届く子のメール	宝塚市	古井 公代
三村純也	ゆったりと鍵屋の辻をつばめとぶ	大和高田市	小松 丈夫
三村純也	勝独楽の軸立て直す余力かな	志摩市	西尾 澄己
三村純也	民宿の主案内の蛭狩	吹田市	西村 妙子
三村純也	バス停は陰一つなく田水沸く	伊賀市	西澤 与志子
三村純也	庭ばきの下駄音軽し水を打つ	彦根市	北川 喜里恵
三村純也	攬抱へ岩場を駆くる夏帽子	志摩市	谷口 ちほ
三村純也	汗のシャツ肌の一部となりしかな	名張市	谷村 賢二

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
三村純也	禅寺に子供食堂葱坊主	大府市	後藤 のり子
三村純也	要塞の昔は知らず磯菜摘む	堺市	徳澤 南風子
宮坂静生	一人ゆく冬野の先もまた冬野	名古屋市	与玖 法破来
宮坂静生	山峡はすでに日弱し泥鰯鍋	中野区	中村 想吉
宮坂静生	お木曳の喜びの満つ街薄暑	伊勢市	西岡 せつ子
宮坂静生	風花に夜は深さを取り戻す	世田谷区	野上 卓
宮坂静生	雁供養止めの薪を焚べにけり	堺市	濱田 昭
宮坂静生	引き揚げのモノクロ写真鳳仙花	小平市	後藤 行雄
宮坂静生	翳雲蒿のロールの走り出す	近江八幡市	八田 喜代美
宮坂静生	勢子の声とどろく阿蘇の野焼きかな	尾鷲市	中村 東太
宮坂静生	空襲のあの日夕風瀬戸の海	越谷市	小田 毬藻
宮坂静生	半島を急ぐ朱鷺あり能登晩夏	横浜市	有手 勉
宮坂静生	小説家になりたしは夢蜉蝣来	長野県	竹野入 美奈子
宮坂静生	緑蔭に畳む少女の長き四肢	札幌市	佐藤 多美子
宮坂静生	夕星や乱鶯いまだ啼き止まず	土岐市	三輪 洋路
宮坂静生	滝壺に日の照る刻や若楓	津市	橋詰 大
宮坂静生	姫芭蕉すみだの風に紅く照る	小金井市	新開 由季子
宮坂静生	かげろふを跨ぎ一瞬無重力	諏訪市	矢崎 義人
宮坂静生	涼しさやおくのはそ道唱へ上ぐ	八王子市	朝野 浩之
宮坂静生	赤銅の子らの賑わひ夏の電車	清瀬市	佐久間 梨江
宮坂静生	神招く築山や秋放生津	伊賀市	福沢 義男

□令和8年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマの部【入選】

選者	俳句	掲載住所	俳号
宮坂静生	新涼や角の取れたるシーグラス	葛飾区	川角 由美子
片山由美子	どの路地も広場へ続き星月夜	新宿区	志磨 泉
片山由美子	中吊りの海の広告夏に入る	茅ヶ崎市	坂口 和代
片山由美子	折込みの広告の嵩お元日	名古屋市	世古 つよ子
片山由美子	皇居前広場参賀の人の波	練馬区	鈴木 英晴
片山由美子	こころもち広がる歩幅春の風	堺市	濱田 昭
片山由美子	駅前の広場狭しと夏つばめ	西宮市	大杉 映美
片山由美子	新聞の切抜き黄ばむ広島忌	松山市	杉山 望
片山由美子	集合は駅前広場夏帽子	鈴鹿市	高尾 のり子
片山由美子	バザールのはじまる広場天高し	岐阜県	森 瑞穂
片山由美子	大花火広き夜空を使ひきり	伊賀市	山下 久美
片山由美子	新聞紙広げ爪切るのどかさよ	神戸市	坂口 蜂子
片山由美子	日脚伸ぶ広場にフリーマーケット	宮崎市	掛園 明江
片山由美子	ぼろ市やこんな物まで広げられ	多治見市	荻原 正三
片山由美子	ただ広し平城京跡ただ暑し	長岡京市	藤堂 くにを
片山由美子	広縁に腰下ろすなり蚊の来たる	富士市	米中 雲天
片山由美子	白鳥の去りし湖面の広さかな	西宮市	大杉 文雄
片山由美子	緑蔭に古地図を広げ城下町	新宿区	牧田 ひとみ
片山由美子	ことに空広し憲法記念の日	桑名市	松本 正光
片山由美子	剪定を終へたる空の広さかな	鎌倉市	嶋村 比呂樹
片山由美子	炎天下広きに迷ふ駐車場	伊賀市	山下 文子